

後期

27. 3. 7

平成二十七年 度

教科・領域教育専攻 言語系コース (国語)

試験問題表紙

解答上の注意

1. 表紙一枚、問題用紙四枚、解答用紙四枚があるかどうかを確認すること。
2. 国語科教育 (問題一)・国語学 (問題二)・近代文学 (問題三)・古典文学 (問題四) の四分野のうちから一分野を選択し解答すること。
3. 「日本語教育」分野志望者は、必ず「問題二」を選択すること。
4. 選択した分野を、解答用紙 (その一) にある選択受験分野表の選択分野欄に○印を入れて示すこと。
5. 選択しない分野の解答用紙には、用紙全面に「X」を大きく表示すること。
6. すべての解答用紙の受験番号欄に受験番号を必ず記入すること。
7. 試験終了後は解答用紙のみを回収するので、解答用紙以外はすべて持ち帰ること。
8. 解答はすべて解答用紙の所定の欄に記入すること。枠外や裏面への記述は採点の対象としない。

教科・領域教育専攻言語系コース（国語）
試験問題（国語科教育） 問題用紙全四枚（その一）

問題一 次の芦田恵之助『綴り方教授』の一節を読み、後の問いに答えなさい。

著作権の関係により掲載いたしません

問一 筆者がどのような主張をしているか、箇条書きを用いて、要約しなさい。

問二 「蝶」という題の綴り方教授」に対する筆者の批評に対して、賛同または反対の意見を述べなさい。

問三 今日の作文教育、あなたの作文学習体験などの具体例を用いて、筆者の主張を批評しなさい。

※「日本語教育」分野志望者は、この問題を選択してください。

問題一 次の問いに答えなさい。

問一 次の(ア)～(エ)の四つの語句の中から二つを選び、それぞれ説明しなさい。選択した語句は、記号を解答用紙に記しなさい。

(ア) 文節

(イ) 有声音

(ウ) オノマトペ

(エ) 臨界期仮説

問二 次の二つの問いに答えなさい。

① 日本語の「思う」と「考える」の意味の違いを説明しなさい。

② 表意文字と表音文字について、具体例を挙げて説明しなさい。

問三 あなたの考える「理想の漢字教育」について、国語科教育または日本語教育の立場から具体的に論じなさい。

教科・領域教育専攻 言語系コース (国語)
試験問題 (近代文学) 問題用紙全四枚 (その三)

問題三 近代文学に関する次の問いに答えなさい。

問一 次の物語の「語り手」について分析しなさい。

著作権の関係により掲載いたしません

問二 次の事項の中から二つを選択し、日本文学史および国文学研究の歴史を踏まえて具体的に説明しなさい。
なお、選択した事項の番号を解答欄の上部に記すこと。

- ① 耽美派
- ② 雑誌『改造』
- ③ 全知視点の語り手・限定視点の語り手
- ④ テクスト論
- ⑤ 太宰治とその文学

教科・領域教育専攻 言語系コース（国語）
試験問題（古典文学） 問題用紙全四枚（その四）

問題四 次の文章は『更級日記』の一節で、祐子内親王家に出仕していた作者（菅原孝標女）が同僚女房と一緒に、源資通が語る季節の風情について耳を傾ける場面から始まる。これを読んで後の問いに答えなさい。

春秋の事などいひて、「時にしたがひ見ることには、春がすみおもしろく、空ものどかにかすみ、月のおもてもいとあかうもあらず、とほう、ながるゝやうに見えたるに、琵琶の、風香調ゆるゝかに弾き鳴らしたる、いとみじくきこゆるに、又、秋になりて、月いみじうあかきに、空は霧りわたりたれど、手にとるばかりさやかにすみわたりたるに、風のおと、虫の声、とりあつめたる心地するに、箏の琴かき鳴らされたる、るやう定のふきすまされたるは、なぞの春とおぼゆかし。又、さかとおもへば、冬の夜の、空さへさえわたり、いみじきに、雪のふりつもり、ひかりあひたるに、筆策のわなゝきいでたるは、春秋もみなわすれぬかし」といひつゞけて、「いづれにか御心とゞまる」と問ふに、秋の夜に心をよせてこたへ給を、さのみおなじさまにはいはじて、

- ① あさ緑花もひとつにかすみつゝおぼろに見ゆる春の夜の月
とこたへたれば、返くうち誦じて、「さは、秋の夜はおぼしすてつるななりな。
- ② 今宵より後のいのちのもしもあらばさは春の夜を形見とおもはむ」といふに、秋に心よせたる人、
- ③ 人はみな春に心をよせつめり我のみや見む秋の夜の月

（新日本古典文学大系『土佐日記 蜻蛉日記 紫式部日記 更級日記』
一九八九年、岩波書店）より一部改変）

〔注〕

○風香調：琵琶の調子の一つ。

○およう定：七孔の横笛。

○緑：色の名前。黄緑色から緑色、青色までを含んで使われる。

問一 源資通が重視する季節の風情の特徴をわかりやすく説明しなさい（その際、『枕草子』の冒頭と比較することが望ましい）。

問二 ①②③の三首の和歌について、それぞれ誰が詠んだものか書きなさい。また、そのように考えた理由を説明しなさい。

問三 ①の和歌をわかりやすく口語訳しなさい。

問四 『更級日記』を女流日記文学の流れの中に位置づけつつ、作品について知るところを述べなさい。

問五 『更級日記』の作者は、藤原頼通の養女・姫子と後朱雀天皇の間に誕生した祐子内親王に宮仕えをしている。この藤原頼通の時代に作られた文学作品の名称を記し、それらについて知るところを述べなさい。